

2012年度 予算編成方針

I. 予算編成に当たって

本学の将来像とそれを実現するための重点施策を示す「明治大学グランドデザイン 2020—ビジョンと重点施策—」が策定されました。今後は、これに基づく長・中期計画及び単年度計画を実現すべく、具体的に、教育、研究、社会連携、国際連携、学生生活支援等、各課題に取り組み推進を図ります。

学校法人の財務のあり方は、大学を取り巻く環境の変化とともに大学間競争は益々激化し、大きな転換期にきています。教育研究活動を目的とする極めて公共性の高い学校法人には、財務の健全化と情報公開がより強く求められています。

この様な状況下、各課題を着実に実現するためには、財源の確保を重要な課題としつつ、事業計画は重要性・緊急性を考慮して予算化することとし、原則借入を行わない予算編成を行います。

II. 予算編成上の主な内容

1. 主要課題

- (1) 国際化の推進
- (2) 研究体制の整備
- (3) 大学院の強化と充実
- (4) 教育体制の整備
- (5) 学生生活支援の充実
- (6) 戦略的広報の展開
- (7) 大学の社会的責任
- (8) 施設整備

2. 人事計画

- (1) 専任教員（特任・客員教員含む。）任用計画に基づく採用
- (2) 職員の人事計画

3. 財務計画

(1) 帰属収入

2012年度、学生生徒等納付金については、前年度に引き続き入学定員の1.15倍を見込んでおります。また、未来サポーター募金制度を始めとする寄付金の積極的な受入れ推進、受託研究費、指定寄付研究費等の外部資金の受入れ強化、競争的補助金の継続的な獲得及び受入れ強化、資産運用及び施設の外部貸出し等の多様な増収策による財源確保に努め、帰属収入の安定的な確保を目指します。

(2) 消費支出

教育・研究に資する大型施設整備計画の建設費への充当財源の確保を最優先とする中で、消費支出については、引き続き効率的な財務運営を行い、長期的な収支均衡を図ります。

- ① 経常的な経費については、2011年度予算を基準とします。
- ② 政策経費については、重要性・緊急性を考慮して予算措置を図ります。

(3) 基本金組入計画

① 第1号基本金

2012年度に支出する土地、建物、構築物、機器備品、図書などの固定資産は取得後に組入れる。組入対象資産の主なものは、駿河台C地区整備計画、中野キャンパス計画です。

② 第2号基本金

継続で駿河台C地区整備計画の建設資金を第2号基本金として設定します。

③ 第3号基本金

創業者記念奨学基金は積み立てます。

④ 第4号基本金

学校法人会計基準に基づき所定額を積み立てます。

以 上